

静岡県漁業協同組合連合会
1044 静岡市追手町 9-18
15.5.30 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 松崎町漁協組合長に齋藤元久氏が就任

松崎町漁業協同組合では、去る5月23日総代会を開催し、任期満了に伴う役員改選を行った結果、代表理事組合長に齋藤元久氏(新任)、専務理事に菊地勝男氏(新任)が夫々就任しました。

2. 水産業・漁村の多面的機能を貨幣評価 評価額9兆2,052億円

水産庁は5月15日、平成14年度「多面的機能評価等調査委託事業」で多面的機能評価等検討委員会がまとめた報告書を発表しました。

この事業は水産業・漁村の多面的機能について客観的評価を行うため、JF全漁連と株水士舎に委託して実施されたもので、水産業・漁村の有する多面的機能の貨幣評価が行われ評価額は貨幣評価が可能な機能の合計で年間9兆2,052億円と試算されました。

既に、農業(評価額 8兆2千億円)は1982年、森林・林業(評価額 70兆3千億円)は1972年にそれぞれ多面的機能の貨幣価値が試算され、国民の理解や関心が深まっていた。しかし水産業・漁村については十分な議論や調査の積み重ねがなく、評価が定まっていないため平成13年から14年の2カ年にわたり同委託事業が実施され、多面的機能について国民的理解を得るための啓発普及と、客観的評価を行うための基礎調査を実施したもので、調査の結果次のような機能を有していることが示されました。

物質循環機能(評価額 3兆1,078億円)

河川等を通じ陸から海に流出した窒素・リンの漁獲による回収

環境保全機能(評価額 4兆5,111億円)

藻場、二枚貝等による水質浄化、海浜・漁港及び海底の清掃活動等

国民の生命財産保全機能(評価額 2,017億円)

海難救助、国境監視、災害時の救助、環境、資源のモニタリング等

保養・交流・学習機能(評価額 1兆3,846億円)

海洋性レクリエーション、都市と漁村の交流活動、学習・体験活動等

漁村とその文化伝承機能(今回貨幣評価を行っていない)

漁村社会の効用、漁村文化の伝承

所得と雇用機会の提供機能(今回貨幣評価を行っていない)

代替産業の乏しい地域における基幹産業をとしての雇用等

3. 平成15年度天草共販協機会を開催 第1回入札会を6月25日(水)に決定

去る5月21日本会賀茂出張所において、平成15年度天草共販協議会を開催し、本年度の共販実施計画等について協議しました。

また、県水産試験場伊豆分場から、本年3月中旬から下旬にかけて実施した生育状況調査(東伊豆、下田、松崎、西伊豆、土肥、戸田地区)の結果が報告されました。

それによると、高い生産量を維持している仁科浜では藻長が短く着生量が減少し、土肥

地区でも着生量が減少しています。その他の西伊豆地区では、藻長と着生量から昨年とにたような着生状況にあると考えられますが、西伊豆地区全体の生産量は前年を下まわる見込みです。

下田地区では漁業者が雑藻刈りを行った漁場で着生量が増加し、素潜り漁場での増産が見込まれていますが、他の地区での着生量が減少しているため、地区全体としては減産が予想されます。

なお、本会の平成15年度天草共販事業入札会は6月25日(水)をかわきりに10月8日(水)まで(2回/月、8月は1回)の7回の入札会を予定しました。

4. 水温分布の画像公開

= 県水産試験場 =

県水産試験場では、昨年11月からインターネット・ホームページで人工衛星NOAAから受信した水温分布の画像を公開していますが、このほど携帯電話でも見られるようになりました。機会があったら、アクセスしてみてください。

県水産試験場インターネット・ホームページ・アドレス

<http://www6.shizuokanet.ne.jp/usr/suishi/>

携帯電話での衛星画像アドレス

<http://www6.shizuokanet.ne.jp/usr/suishi/imodo>

5. 新館図書紹介 「驚異の水産物パワー」

水産業の厳しい現状から、今こそ水産業が元気を取り戻す最大のチャンスと信じて、今般(株)水産社より「驚異の水産物パワー」が発刊されました。

本書では食品とは何かという定義から現在に至る食品の位置付けと分類、さらに栄養特性、感覚特性、生体調整機能までを解説し、その中で水産食品を考察し、魚介類、海藻を含めた水産食品が体に良い、食べないと体を保つことができないことを協調し、もう一度水産食品を見直そうと提言しています。

また本書は、相次ぐ食品表示偽装問題により消費者からの信用が失墜しつつある食品業界において、消費者の求める安全・安心、トレサビリティを逆手に取った水産業の大編成時代を切り開く必要があるという考えから、永井毅・水産大学校食品化学科、鈴木善隆・広島大学大学院生物圏化学研究科教授等が企画したものです。

一般読者の啓蒙書として、また水産学、食品学、家政学などを専攻する学生のテキスト、参考書として活用できる一冊となっています。

定価：1,950円(税込) 申込・問合せ先：(株)水産社 03-3353-8221

6. 諸会議・日程(6月3日(火)~6月16日(月))

6月5日(木) 県養鰻協会 = 企画委員会 (県水産会館)

6月10日(火) 県漁船保険組合 = 通常総会 (")

" 県漁業共済組合 = 通常総会 (")

" 県水産振興推進協議会 = 委員・幹事合同会議 (")

" 県ふぐ漁組合連合会 = 通常総会 (")

- 訂正 - 本誌1043(5/23)掲載の諸会議・日程の中で、本会第2回理事会の開催日を6月6日(金)としましたが、6月5日(木)の開催ですのでお詫びし訂正します。